

(案)

資料1



第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
に向けた基本的な考え方と基本目標について

令和2年1月15日

1. 第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について

策定の背景

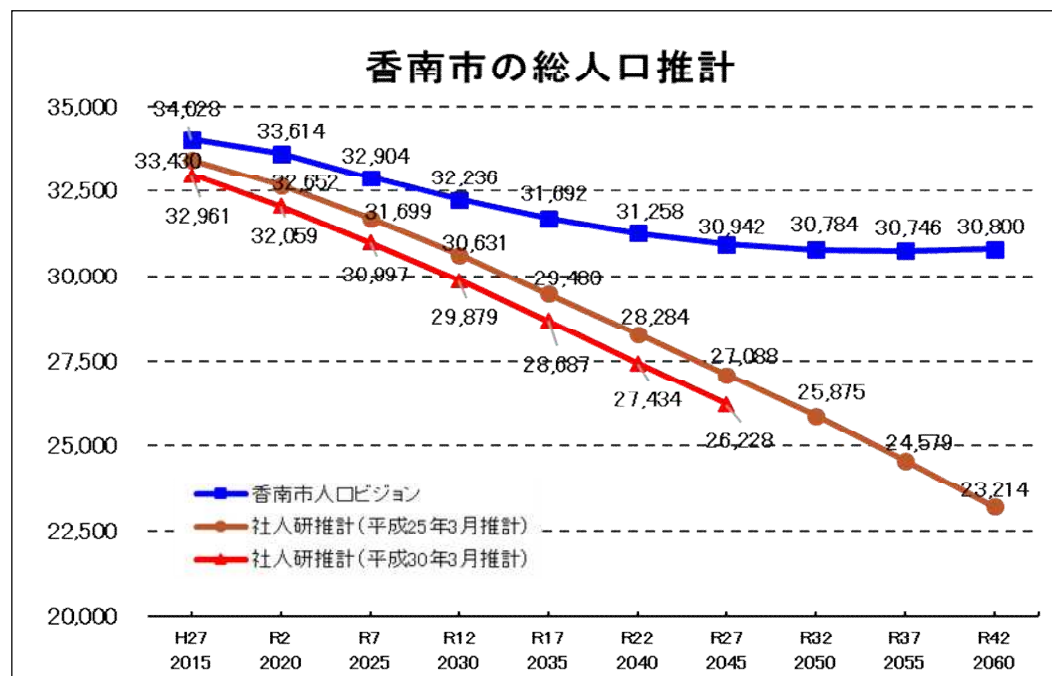
少子高齢化と人口減少が進行する中、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、国は2014年（平成26年）11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。また、同年12月には2060年に1億人の人口維持をめざした「長期ビジョン」と、そのための取り組みの方向性をまとめた「総合戦略」を策定し、地方公共団体もこれを勘案して地方版総合戦略を策定することが努力義務とされました。

香南市においても、平成28年2月に香南市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」・「総合戦略」を策定し、2019年度（令和元年度）を目標年次として、計画的に施策の展開を図ってきました。

国は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2018改訂版）」において、2019年度は第1期の総仕上げを目指すとともに、「継続を力にする」という姿勢で、次のステージに向け、令和2年度以降の次期「総合戦略」を策定することとしています。さらに、地方公共団体においても、地方創生の深化に向け、切れ目のない取り組みを要請しています。こうした国の動向を踏まえ、引き続き人口減少問題に果敢に挑戦していくため、第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第2期総合戦略」という。）を策定します。

人口ビジョンの見直し

人口ビジョンについては、国の人口ビジョンの期間に合わせ2060年までの長期計画として策定しました。平成28年2月の策定時の人口推計と比較し、現在、総人口に大きな乖離は見られないことから、現時点で改訂は行いません。



1. 第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について

国及び県との整合性

国が定める総合戦略及び高知県総合戦略を勘案して策定します。

総合戦略の計画期間

国の第2期総合戦略にあわせ、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間とします。

第2期総合戦略の基本的な考え方

地方創生は息の長い取り組みであり、第1期で根付いた地方創生の意識や取り組みを令和2年度以降も継続していく必要があります。そのため、国が示す4つの基本目標の枠組みは維持しつつ、基本目標や基本的方向、数値目標、重要業績評価指標（KPI）については、第1期の成果と課題等を踏まえて、優先的に取り組む施策を設定し、これまでの施策の見直しや充実を図ります。

	国が示す基本目標	香南市総合戦略における基本目標
第1期総合戦略	①地方における安定した雇用を創出する	1.魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する
	②地方への新しい人の流れをつくる	2.新しい人の流れをつくる
	③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	3.若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	④時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	4.時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる

第2期総合戦略	①稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 国の示す4つの基本目標の枠組みは維持しつつ、第1期の成果と課題等を踏まえて、見直しを行う。 </div>
	②地域とのつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる	
	③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
	④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	
	横断的な目標① 多様な人材の活躍を推進する	
	横断的な目標② 新しい人の流れを力にする	

2. 第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略で優先的に取り組む施策

これまで取り組んできた施策は、基本的に第2期でも継続することとします。
また、下記に示す取り組みを第2期の優先的に取り組む施策とし、施策への追加を行います。

【第1期総合戦略の取り組みから】

■ 地域経済の活性化や安定した雇用をめざして、IT系の企業誘致・新規工業団地の整備に取り組み、新たな雇用を生み出す

☞ 第1期で計画していた工業団地は全区画企業誘致ができた。しかし、企業の廃業や撤退もあることから、地域経済の活性化や安定した雇用の充実には、既存企業の支援の継続とあわせて、新たな工業団地や商業系企業の誘致に取り組みます。

■ 地産地消・外商・ブランド化等による各産業での収益の増加

☞ だれもがいきいきと仕事ができるよう、これまでの取り組みの継続と、付加価値を付けたブランド化や外商の強化（情報発信・加工品開発・販路拡大）し、それぞれの産業における収益を増加させ、稼ぐ産業への取り組みを図ります。

■ 「交流人口」の拡大とあわせて、新たに「関係人口」を創出し、定住人口の増加を目指す

☞ 観光客などの交流人口の増加を目指した新たな取り組み（サイクリング、自然・アクティビティ型の観光クラスター等）とあわせて、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材を増やし、新たな地域の担い手や将来的な移住者の増加に繋げていきます。

■ 労働力や移住定住促進のための居住地の確保と整備

☞ 香南市を移住先に選んでもらえるよう、これまでの移住・定住の取り組みの継続と、一次産業や商工業の担い手確保と連携した取り組みをめざす。また、それら移住促進のための宅地開発等に取り組みます。

3. 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の見直し

第1期総合戦略の成果と課題、また、第2期総合戦略において優先的に取り組む施策等を踏まえて、基本目標を下記のとおり見直すこととします。

基本目標	【第1期総合戦略の基本目標】	基本目標	【第1期総合戦略の基本目標】
1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
2	新しい人の流れをつくる	4	時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心して暮らしを守る

（基本目標1：「付加価値*をつくり、稼ぐ産業を目指す」観点を追加

これまでは担い手確保（人材育成）と生産量等を指標とし取り組みを推進してきたが、元気に働き続けるためには、所得が重要であることが、香南市産業振興計画の各部会においても、多くの意見として出された。第2期では既存の取り組みの継続と各産業分野においてブランド化や付加価値等の創造に一層取り組んでいくことと、新たに、IT系の企業誘致や新規工業団地の整備に取り組み、安定した雇用と稼ぐ産業への取り組みを推進していく。

*商品やサービスなどに付け加えられた、他にはない独自の価値。

（基本目標2：「香南市との繋がり（関係人口）から移住へ」「居住地の確保と整備」観点を追加

移住でもなく観光でもない、地域と多様に関わる者で、将来的な移住にもつながる「関係人口」の創出に取り組み、香南市との関係を強化していく。このことは、地域に関わる人々にとっても重要な意義があることである。また、就業や移住の受入体制として、居住地の確保や宅地開発等の取り組みを推進していく。

（基本目標4：「自主防災組織や自治会の活動の充実」観点を追加

第1期においては、組織等の結成率を目標にしていたが、自治会や自主防災組織の活動の充実が、地域住民にとっても、移住してきた者にとっても重要である。そのため、安心して元気にいつまでも住み続けたいと思える地域づくりを推進していく。

上記の観点を追加し、基本目標を見直します

基本目標	【第2期総合戦略の基本目標】	基本目標	【第2期総合戦略の基本目標】
1	魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業をめざす	3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
2	香南市とのつながりを強化し、新しい人の流れをつくる	4	地域コミュニティの活性化を図り、安心・安全な地域をつくる

4. 第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の個別の取り組み

これまでの取り組みを継続し、成果が出ている施策については、一層成果がでるよう磨き上げを行っていきます。また、まだ十分な成果が出ていない施策についても必要な対策や見直しを行い、引き続き、取り組んでいきます。

◆基本目標1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業をめざす

【新たな取り組みの方向】

- 継続 **産業振興計画**における施策の一層の推進
- 拡充 **人・農地プランの実質化**を図り、耕作放棄地の減少・新規就農者の農地確保など地域内の農地利用の再編を図る
- 新規 森林環境の保全に向け、**境界明確化事業**及び**間伐委託事業**の実施
- 新規 森林環境税を活用し、**森林管理意向調査**を実施し、整備されてない森林の管理に取り組む
- 新規 **水産業制度資金に対する利子補給制度**を制定し、漁業者の生産性向上を支援
- 新規 (一) 県漁業就業支援センターと連携し、香南市の**主要漁業種別「生活プラン」**を策定し担い手確保に活用
- 継続 農産物や水産物の**ブランド化の推進**と付加価値を創出し、稼ぐ産業を創出 (**優先的に取り組む施策**)
- 新規 **商店街の活性化**に向けて取り組む
(商店街等振興計画の策定・空き店舗実態調査・空き店舗バンク(仮称)の創設・チャレンジショップの実施)
- 新規 **新規工業団地の整備**を行うための候補地選定と敵地調査を実施
- 新規 **事務系企業(IT企業等)誘致**を推進し、あらたな産業と雇用を創出 (**優先的に取り組む施策**)
- 拡充 **企業誘致支援制度の見直し**(条例改正)を行い、立地企業の設備投資に伴う負担を軽減する
- 新規 **ものづくり教育推進事業**として、次代を担う小中学生や高校生を対象に工業見学やものづくり体験学習を実施
- 継続 イシン(株)と連携し、香南市と**企業とのマッチング**機会を増やし、地方への人や情報の流れを創出
- 新規 **スポーツツーリズムを推進**し、広域観光を図る(サイクリング・マリンスポーツ等)

◆基本目標2：香南市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる

【新たな取り組みの方向】

- 継続 **産業振興計画**と**人生支援計画**における施策の一層の推進
- 新規 観光などの「交流人口」だけでなく、多様に関わる「**関係人口**」増加策の推進 (**優先的に取り組む施策**)
(ふるさと納税寄付者・ワーキングホリデー・お試し居住・姉妹都市交流・ボランティアスタッフ等)
- 継続 動画やSNS・インターネット・フェイスブックなどを活用した**香南市の魅力の情報発信**を強化
- 新規 移住定住促進施策として**宅地開発の取り組み**を推進 (**優先的に取り組む施策**)
- 新規 **移住者同士の交流会**を実施し、移住者同士、または、移住者と地域が交流を深め、定住率の向上等を図る

第2期香南市総合戦略の施策に
追加・拡充し、取り組みを強化

4. 第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の個別の取り組み

これまでの取り組みを継続し、成果が出ている施策については、一層成果がでるよう磨き上げを行っていきます。また、まだ十分な成果が出ていない施策についても必要な対策や見直しを行い、引き続き、取り組んでいきます。

◆ 基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【新たな取り組みの方向】

- 継続 **人生支援計画**における施策の一層の推進
- 継続 子育て施策の充実を図り、**仕事と子育ての両立がしやすい環境づくり**（子育てしやすい市）の推進
- 新規 **日常生活用具給付事業**として、高齢者の外出支援としてシニア向けの電動イスの購入費を補助
- 拡充 **市営バスの利用**について利用促進や路線・ダイヤ改正を検討
- 継続 4市（高知市・南国市・香美市・香南市）が連携し、**少子化対策事業**の取り組みを推進
- 新規 新たに**放課後児童クラブを整備**し、待機児童の解消を図る（野市小学校・香我美小学校）
- 継続 **総合子育て支援センター事業**及び**病後児保育事業**の取り組みの推進

◆ 基本目標4：地域コミュニティの活性化を図り、安心・安全な地域をつくる

【新たな取り組みの方向】

- 継続 自治会及び自主防災組織における活動への支援を推進し、地域コミュニティの活性化を一層図る（**優先的に取り組む施策**）
- 継続 自主防災組織による**避難所運営・開設訓練**の取り組みの推進
- 拡充 **住民の受け皿作り事業**として、生活支援を含めた高齢者の移動手段について視察研修や運転手養成講座等を実施

◆ 基本目標1～4の横断的な取り組み

【新たな取り組みの方向】

- 拡充 各基本目標の施策を連携・横断的に取り組み、一層の成果を図る（雇用と居住、観光と仕事、各産業と教育等）
- 新規 **SDGs**はあらゆる分野の持続可能な開発目標が示されており、各分野の先進的な事例等を研究し、理解促進を図る
- 新規 **Society5.0の実現**は住民の生活の利便性向上に重要であり、技術の理解と、各産業分野や横断分野での活用を検討

第2期香南市総合戦略の施策に
追加・拡充し、取り組みを強化